

第168期

報告書

2025年3月 1日 から

2026年2月28日 まで

ASPINA

シナノケンシ株式会社

事業報告

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期の世界経済を概観すると、インフレ率の鈍化を背景に緩やかな成長となりました。欧米では高金利水準の維持により景気は減速傾向であり、中国経済も不動産市場の調整等により緩慢な回復となった一方で、新興国は内需拡大等を背景に相対的に堅調な成長を維持しました。地政学リスクの点では、ウクライナや中東の情勢は依然として解決が見通せず、日中関係の悪化など引き続きリスクの高い状態が続きました。保護主義の拡大によって資源価格の動向も不安定となり、総じて先行きの不透明さが増した一年でした。

このような環境下、当社グループの業績は、連結売上高は 47,085 百万円（前期比 8.5%減）、営業利益は 1,014 百万円（前期比 56.2%減）、経常利益は 1,546 百万円（前期比 31.2%減）、当期純利益は 637 百万円（前期は当期純損失 520 百万円）となりました。主に中国・アジア市場におけるインフラ分野での価格競争の激化や車載分野における低収益製品の計画的縮小に伴う売上高減少等により営業利益、経常利益ともに減益となりました。一方で、前期に発生した中国税務当局からの指摘に伴う特別損失等の計上は無く、加えて新規事業開拓を目的に実施しているベンチャーキャピタル投資からの分配金等を 505 百万円計上したことにより、最終損益は当期純利益となりました。単体売上高は 43,597 百万円（前期比 4.8%減）、当期純利益 354 百万円（前期は当期純損失 302 百万円）となりました。なお、単体では営業外収益として関連会社からの配当収入を 1,582 百万円、過年度生産中止となった大型案件に係る補償金として 790 百万円を計上しております。

分野別の連結売上高では、家電・住設・FA 等のインフラ分野（前期比 7.4%減）が中国市場の減速や顧客モデルチェンジに伴う販売終了等の影響を受けて減少しました。車載分野（前期比 12.4%減）及びロボティクス分野（前期比 14.1%減）では既存製品の終了により売上高が減少しました。医療分野（前期比 23.1%増）では大型顧客向けの需要が回復したことで前年比プラスとなりました。

地域別では、中国・アジア向け（前期比 21.8%減）及び米州向け（前期比 10.4%減）売上高は、関税政策の影響に伴う価格競争の影響等により減少したものの、欧州向け（前期比 16.2%増）売上高はデータセンター関連のビル空調部品の伸長等により前期を上回りました。

BV100 第 3 期中期経営計画 2 年目の当期は、BV100 の 4 つの戦略方針（「営業力強化」「技術力強化」「生産力強化」「経営基盤強化」）から、「自ら考え、自ら行動」し働きがいをも高める」「CPM 戦略で高付加価値化を推進」「サプライチェーンの高度化で顧客満足と当社利益を最大化」の 3 つのテーマを柱として活動しました。「自ら考え、自ら行動」し働きがいをも高める」では、全社的な視点を持ちチームの中で自ら考え、自ら行動することで付加価値生産性を最大化させることを目的として、AI 活用等の DX や Diversity（ダイバーシティ＝多様性）に Equity（公平性）、Inclusion（包摂性）を含めた DEI の推進、企業理念の整理・浸透といった活動を行っています。当期は、本社圏再開発事業が完了し、DEI 推進ロードマップのフェーズ 1 としてジェンダーギャ

ップ是正に向けた取り組みを行いました。また「全社員がデジタルを駆使し新しい ASPINA の価値を紡ぎ出す」との DX ビジョンのもと、Office365 や AI を活用した施策を進めました。この結果、働きがいのある会社アンケートにおける「働きがい」率は 42.0%から 51.0%に上昇しました。

「CPM 戦略で高付加価値化を推進」では、ターゲットを製品群・市場（顧客）などの切り口で層別し、各カテゴリーを技術ロードマップと組み合わせた ASPINA CPM（ASPINA・カテゴリー・ポートフォリオ・マネジメント）による活動をさらに推進し、現主要ビジネスの収益性向上、製品の横展開や主要顧客との新規案件を進めた成長、高付加価値を狙える新規事業の開拓の 3 つの活動をポートフォリオで管理しています。当期は、開発着手案件の件数や進捗率のモニタリングを強化するとともに、新規事業への取り組みを継続的に実施しました。こうした活動により、主要ビジネスにおいては車載事業での大型案件を獲得するとともに、ロボティクス製品をはじめとする完成品分野では自動搬送ロボット「AspinaAMR」関連の売上高が前期比約 2 倍となりました。

「サプライチェーンの高度化で顧客満足と当社利益を最大化」では、生産拠点の最適配置によって地政学リスクや自然災害等のリスクに柔軟に対応できる体制を整えるとともに、付加価値向上に向けた技術の高度化を目指して活動しています。当期は関税率の上昇や中国におけるレアアースを含む材料輸出規制など、各国で保護主義的な政策が広がりました。その対応として、関税に関するタスクフォースを社内横断で組織し、関税や政策変更に伴うコスト変化のモニタリングを実施しました。また、材料調達の安定化に向けた活動や海外工場間での生産移管等を進めました。

(2) 設備投資等の状況

当期の設備投資は、本社圏再開発事業による建物等を含め総額 1,215 百万円となりました。関係会社を含めたグループ全体の設備投資は、総額 2,112 百万円となりました。

(3) 対処すべき課題

2026 年度を展望しますと、イラン情勢の緊迫化によりエネルギー価格の上昇や為替の不安定化、海外需要の減速など、地政学リスクによる不確実性がさらに高まることが予想されます。

このような環境のもと、BV100 最終年度である 2026 年度ではお客様をより深く知り、CPM 戦略を進化させることで、価値にずれなく応え、売上高成長につながる活動を進めてまいります。サプライチェーン高度化の点では、当社の強みでもあるスピーディーな量産立ち上げで顧客満足と当社利益の最大化を目指すとともに、世界情勢の変化を先取りし、リスク分散とビジネス機会の獲得につながる活動を加速いたします。

また、2 年後の 2027 年度から始まる長期戦略「Aspire130」に向けた活動として、最も上位概念となる新企業理念を制定しました。2026 年度はこの新企業理念をグループ全員が理解し行動につなげるための活動を行うとともに、Aspire130 の具体的な戦略に関する議論を進めてまいります。

貸借対照表

単位：千円

単位未満切捨

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	2026年2月28日 現 在	2025年2月28日 現 在		2026年2月28日 現 在	2025年2月28日 現 在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	22,030,447	20,702,619	流動負債	18,051,219	18,622,106
現金及び預金	1,824,980	2,607,862	買掛金	10,619,950	10,290,469
受取手形	1,238,719	1,127,999	短期借入金	5,583,100	5,827,100
売掛金	11,382,658	10,718,381	未払金	10,966	32,159
商品及び製品	1,652,252	1,860,634	未払費用	484,953	514,144
仕掛品	413,077	302,242	未払法人税等	9,440	26,849
原材料及び貯蔵品	728,249	733,633	預り金	940,198	751,805
未収入金	2,395,312	1,155,073	賞与引当金	395,576	580,713
短期貸付金	2,271,000	2,095,380	デリバティブ債務	-	597,702
前払費用	59,836	59,644	その他	7,033	1,160
その他	64,359	41,767	固定負債	2,742,861	2,810,120
固定資産	16,559,408	18,099,121	長期借入金	1,532,000	1,688,000
有形固定資産	5,447,686	5,867,999	役員退職慰労引当金	554,103	531,275
建物及び構築物	3,969,695	3,832,033	資産除去債務	540,148	540,148
機械装置及び運搬具	219,082	198,215	繰延税金負債	91,425	29,767
工具、器具及び備品	257,147	232,863	その他	25,184	20,930
土地	908,074	908,074	負債合計	20,794,081	21,432,227
建設仮勘定	93,686	696,812	(純資産の部)		
無形固定資産	726,475	795,838	株主資本	17,593,510	17,300,844
投資その他の資産	10,385,246	11,435,283	資本金	650,000	650,000
投資有価証券	461,759	258,756	資本剰余金	81,304	81,304
関係会社株式	7,778,389	7,778,389	資本準備金	81,304	81,304
長期貸付金	670,853	2,097,000	利益剰余金	16,862,206	16,569,539
前払年金費用	1,256,268	1,133,363	利益準備金	150,000	150,000
長期前払費用	41,500	37,886	その他利益剰余金	16,712,206	16,419,539
デリバティブ債権	120,436	74,620	別途積立金	11,900,000	11,900,000
その他	56,038	55,267	繰越利益剰余金	4,812,206	4,519,539
			評価・換算差額等	202,263	68,668
			その他有価証券評価差額金	202,263	68,668
			純資産合計	17,795,773	17,369,513
資産合計	38,589,855	38,801,740	負債純資産合計	38,589,855	38,801,740

損益計算書

単位：千円

単位未満切捨

科 目	当 期	前 期
	2025年3月1日から 2026年2月28日まで	2024年3月1日から 2025年2月28日まで
売 上 高	43,597,076	45,799,867
売 上 原 価	41,740,247	42,883,285
売 上 総 利 益	1,856,828	2,916,581
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,857,192	3,880,700
営 業 利 益	△ 2,000,364	△ 964,118
営 業 外 収 益	2,997,367	1,395,346
営 業 外 費 用	692,820	256,567
経 常 利 益	304,183	174,660
特 別 利 益	544,353	41,201
特 別 損 失	440,460	437,022
税 引 前 当 期 純 利 益	408,076	△ 221,160
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	53,328	80,985
当 期 純 利 益	354,747	△ 302,146

株主資本等変動計算書

2025年3月1日から
2026年2月28日まで

単位：千円
単位未満切捨

科 目	株 主 資 本					株 主 資 本 合 計	評価・換算 差額等	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利 益 剰 余 金		繰越利益 剰余金		その他有価証券 評価差額金	
		資本準備金	利益準備金	そ の 他 利 益 剰 余 金				
				別途積立金				
当期首残高	650,000	81,304	150,000	11,900,000	4,519,539	17,300,844	68,668	17,369,513
(当期変動額)								
剰余金の配当					△ 62,081	△ 62,081		△ 62,081
当期純利益					354,747	354,747		354,747
株主資本以外の 項目の当期 変動額(純額)							133,594	133,594
当期変動額合計					292,666	292,666	133,594	426,260
当期末残高	650,000	81,304	150,000	11,900,000	4,812,206	17,593,510	202,263	17,795,773

(ご参考)

連結貸借対照表

単位：千円

単位未満切捨

科 目	当 期 2026年2月28日 現 在	前 期 2025年2月28日 現 在	科 目	当 期 2026年2月28日 現 在	前 期 2025年2月28日 現 在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	39,577,128	40,608,313	流動負債	14,086,725	16,337,496
現金及び預金	15,164,922	16,319,087	買掛金	1,984,577	2,532,318
受取手形及び売掛金	11,037,878	10,764,147	短期借入金	5,550,570	7,016,463
商品及び製品	5,143,297	5,980,714	未払金及び未払費用	3,919,025	3,728,355
仕掛品	704,396	594,395	未払法人税等	199,582	241,933
原材料及び貯蔵品	5,101,667	4,689,940	その他	2,432,968	2,818,425
未収入金	685,902	927,303	固定負債	6,022,517	7,108,015
その他	1,798,347	1,373,077	長期借入金	3,669,081	4,794,570
貸倒引当金	△ 59,282	△ 40,353	役員退職慰労引当金	554,103	531,275
固定資産	25,413,770	23,116,191	資産除去債務	540,148	540,148
有形固定資産	16,701,603	16,470,600	繰延税金負債	90,763	387
建物及び構築物	8,443,670	8,022,365	その他	1,168,420	1,241,633
機械装置及び運搬具	5,400,122	4,967,345	負債合計	20,109,243	23,445,512
工具、器具及び備品	1,489,970	1,546,479	(純資産の部)		
土地	1,129,564	1,120,836	株主資本	33,429,245	32,857,412
建設仮勘定	238,275	813,572	資本金	650,000	650,000
無形固定資産	1,439,627	1,281,290	資本剰余金	81,304	81,304
投資その他の資産	7,272,539	5,364,300	利益剰余金	32,697,941	32,126,107
投資有価証券	461,759	258,756	その他の包括利益累計額	11,438,182	7,410,917
長期貸付金	60,000	47,000	その他有価証券評価差額金	194,795	133,621
長期前払費用	371,309	365,606	為替換算調整勘定	10,124,221	6,869,953
退職給付に係る資産	2,375,433	1,540,705	退職給付に係る調整累計額	1,119,165	407,342
繰延税金資産	660,043	773,620	非支配株主持分	14,227	10,662
その他	3,343,993	2,378,611	純資産合計	44,881,655	40,278,992
資産合計	64,990,898	63,724,504	負債純資産合計	64,990,898	63,724,504

連結損益計算書

単位：千円
単位未満切捨

科 目	当 期	前 期
	2025年3月1日から 2026年2月28日まで	2024年3月1日から 2025年2月28日まで
売 上 高	47,085,878	51,457,749
売 上 原 価	37,392,676	39,877,705
売 上 総 利 益	9,693,201	11,580,043
販売費及び一般管理費	8,679,119	9,265,906
営 業 利 益	1,014,082	2,314,136
営 業 外 収 益	1,542,649	827,736
営 業 外 費 用	1,010,046	895,339
経 常 利 益	1,546,685	2,246,533
特 別 利 益	544,353	555,508
特 別 損 失	440,460	1,193,246
税金等調整前当期純利益	1,650,578	1,608,796
法人税、住民税及び事業税	1,006,157	2,144,553
法人税等調整額	7,025	△ 15,159
当 期 純 利 益	637,396	△ 520,597
非支配株主に帰属する当期純利益	3,481	2,025
親会社株主に帰属する当期純利益	633,914	△ 522,622

株式事務のご案内

決 算 期	2月末日
配当金受領株主確定期	期末配当 2月末日
定 時 株 主 総 会	5月
基 準 日	イ) 毎年2月末日 ロ) そのほか必要あるときは予め 公告します。
株 式 事 務 取 扱 場 所	〒386-0498 長野県上田市上丸子1078番地 総務本部 総務部 総務課 TEL 0268(41)1800 (代表)
決 算 掲 載 方 法	ホームページ jp.aspina-group.com/ja/group-info/shinanokenshi.html または、信濃毎日新聞